

**平成26年第5回周南市議会定例会一般質問通告一覧表**  
(平成26年9月4日～9月9日)

---

**1 岩田淳司（アクティブ）**

**1 周南市水素利活用構想について**

- (1) これまでの取り組みの概要について問う。
  - ア 国・県・我が市の取り組みの連携はできているか。
- (2) 今後の我が市の取り組みの方向性について以下を問う。
  - ア 今年度を示されるという水素利活用計画は現在どこまで進んでいるのか。また、我が周南地域独自の取り組みなどはあるのか。
  - イ 関連産業や新しい雇用についてどのように想定しているか。
  - ウ 供給量と需要量の見通しについて
    - (ア) 周南市の産出量で車や一般家庭はどれぐらい賅えるのか。また、どれぐらいの規模までの取り組みを考えているのか。
    - (イ) 5年、10年、20年先の水素事業の見通しをどう捉えているのか。
    - (ウ) 水素社会を到来させるつもりであれば供給源確保についても早くから検討していかねばならないがどうか。

**2 新たな徳山駅ビル整備基本構想について**

- (1) 工事着手までにすべきソフト事業について以下を問う。
  - ア デザイン会議では日常で駅を使う高校生などのサイレントマジョリティーの声をもっと取り入れたいという意見があったが、その作業は怎么样了か。
  - イ 設計が進んでいけば、駅前広場など全体のグランドデザインの構想も固まってくると考えるがどうか。
  - ウ 8月29日のシンポジウムから得たものは何か。
  - エ 指定管理業務について
    - (ア) 全フロアを一つの指定管理とするつもりか。また、指定管理者からの転貸を可とするのか。
    - (イ) 指定管理は、いつから始めようと考えているのか。また、新駅ビルが動き出す前から地元商店街等との連携をとる期間を設けるためにも、管理者を少し早目に決めるなどしたらどうか。

---

**2 長谷川和美（周南会）**

**1 視覚障害者のための同行援護の充実について**

- (1) 周南市の現状は。
- (2) 課題は何か。
- (3) 今後の取り組みは。

**2 徳山駅南北自由通路について**

- (1) 徳山駅南北自由通路の利用方法は。

- (2) 現在利用されている徳山駅南北地下道は、どうするのか。
  - (3) 南北自由通路の整備及び管理についての考え方は。
- 

### 3 坂本心次（新誠会）

#### 1 めくもりのある地域の農畜産物ブランド化について

- (1) 地方卸売市場及び道の駅ソレーネ周南における市内農産物と市外農産物の出荷割合は。また、市内農産物のうちブランド化している割合は。
  - (2) 6次産業化を促進するべきだが、今後の方向性をどう考えているか。
  - (3) 農林産業発展の基盤となるべきファンタジアファームに対する市長の思いは。
- 

### 4 小林雄二（刷新クラブ）

#### 1 新庁舎と新駅ビルによる町のにぎわい創出に対する相乗効果について

- (1) 新庁舎建設位置は緑と文化のプロムナードの一角を占めており、こういった形態となるのか大変な関心事である。庁舎建設技術提案によると、新「徳山駅」と新「市庁舎」で相乗効果を発揮し、町のにぎわいをつなぎ、広げる市庁舎をつくとあるが、こういったイメージを持っているのか。
- (2) 新駅ビルも新庁舎もほぼ同時期の建設予定であり、中心市街地担当所管と庁舎建設担当所管との連携が相乗効果演出のためには重要であると思うがどうか。
- (3) 庁舎開庁中の形態利用（市民サービスのあり方）、閉庁中の形態利用（市民利用のあり方）、駅ビルの運営形態（24時間体制とするのか）を明確にして、それぞれがすり合わせをする必要があるのではないか。

#### 2 平成28年度から始まる全日制普通科の通学区が県内全域になることに伴う義務教育のあり方について

- (1) 進学指導など、小中学校教育への影響、変化は生じてくるのか。
  - (2) 小中学校通学区への影響は出てくるのか。また、現状の通学区選択はどうなっているのか。
  - (3) 土曜授業には賛否あるが、特色ある学校づくりの中で要望が出てくれば、踏み込んでいくのか。
  - (4) 不登校対応の現状はどうか。また、原因をどう捉えているのか。
- 

### 5 田村隆嘉（刷新クラブ）

#### 1 空き家対策について

- (1) 本市における空き家の実態を問う。
  - ア 地域別の空き家数と空き家率は。
  - イ 空き家が発生する原因は。
- (2) 本市における空き家対策事業について問う。
  - ア 周南市空き家等の適正管理に関する条例施行後の情報提供、実態調査、指導等の実績は。
  - イ 周南市空き家情報バンク制度の実績と今後の取り組みは。

(7) 情報バンク登録数と契約数は。

(4) 情報バンク制度の利用促進策は。

ウ さらに空き家対策が必要と考えるがどうか。

(7) 土地売却目的の空き家撤去費用の補助制度や取り壊し後の固定資産税減免制度は。

(4) 空き家を賃貸、売却するための改修、家財撤去費用の補助制度は。

(7) 市民団体やNPO等が空き家を利用する場合の家賃補助制度は。

## 2 情報管理について

(1) 本市の情報セキュリティポリシーについて問う。

ア 情報セキュリティ対策を推進する全庁的な組織体制とは。

イ 人的セキュリティ対策の内容は。

ウ 情報資産への侵害が発生した場合に対応するための緊急時対応計画とは。

エ 監査及び自己点検の実施状況は。

オ 情報システムの開発、運用等の外部委託の状況と情報漏えい防止対策は。

(2) 文書管理について問う。

ア 管理されるべき文書と管理外文書は明確に区別されているか。

イ 管理される文書は適正に保管されているか。

ウ 本市におけるペーパーレス化の取り組みは。

---

## 6 岸村敬士（参輝会）

### 1 人口減少対策について

(1) 平成26年7月31日に全国知事会で「少子化非常事態宣言」をした。本市も2015年は14万5,034人、そして10年後の2015年は13万3,502人で、1万1,532人減少することになり、大変危惧をしている。市長は人口減について、急激でなく緩やかな減少を目指すと言われたが、本格的に手を打つべきと考え、以下について問う。

ア 市はこの状態をどう考えているのか。

イ 1万1,532人減少すると、住民税や交付税などがどのくらい減収になるのか。

ウ 減収になるなら、減収にならないように若者に投資し、人口減少に歯どめをかけられないか、具体的に問う。

(7) 市が婚活支援を行ってはどうか。

(4) 各団体が婚活支援事業をする場合、補助金を出してはどうか。

(7) 結婚祝い金を出してはどうか。

(エ) 新婚が市内のアパートに住む場合、月1万円程度の補助金を出してはどうか。

(4) 収入に関係なく、期間限定で市営住宅に住めるようにしてはどうか。

(4) 出産祝い金を出してはどうか。特に3人目以降は高額が望ましい。

(4) 医療費を小学生まで無料にし、予防接種などに助成してはどうか。

エ 保護者は教育に大変興味を持っている。若者定住のために以下を問う。

(7) 小中一貫教育を行ってはどうか。

(4) 土曜授業を行ってはどうか。

(ウ) 小学校から本格的な英語授業を取り入れてはどうか。

## 2 ふるさと周南応援寄附金について

- (1) ふるさと周南応援寄附金は、25年度は約3,214万円と多い。しかし、市外からの寄附者は38件、102万円である。市外の方をふやす努力が必要ではないか。
- (2) 26年度から1万円以上寄附をした方へは5種類の中から記念品が選べるが、いずれも気持ち程度である。寄附金額に合わせ自慢ができるような記念品にできないか。

## 3 スリランカ国へのツアーについて

- (1) 徳山動物園は3年前に象のマリが死に、大変困っているときに、スリランカ国から象のナマリーとミリンダ2頭を寄贈していただいた。行政も市民の皆さんも大変喜び、歓迎式も大変立派だった。しかし、その後はスリランカ国との関係はさしたる動きはない。そこで市が中心となって、スリランカ国へ歓迎の意味を込めてツアーを計画したらどうか。

---

## 7 友田秀明（周南会）

### 1 学校図書館司書について

- (1) 制度開始から今日までの成果の検証結果は。
- (2) ことし4月の学校図書館司書及び指導員の配置がえの理由は何か。
- (3) モデル校について問う。
  - ア モデル校の目的、目標は何か。
  - イ モデル校制度は継続するのか。

### 2 周南市の税収について

- (1) ふるさと周南応援寄附金について
  - ア 現状と今後の対応は。
  - イ 新社会人の市内からの転出と転入数は。
- (2) 市たばこ税収入の状況は。

### 3 工場夜景について

- (1) テレビにも取り上げられた周南市の工場夜景について現状と今後の方針はどうか。

### 4 プレミアムつき周南市内共通商品券について

- (1) ことしは発売初日に完売したが、市としてどのように捉えたか。
- (2) 去年の検証結果は。
- (3) 今後も継続するのか。
- (4) 問題点はあるのか。

---

## 8 西田宏三（周南会）

### 1 中心市街地活性化基本計画について

- (1) 大型商業施設の進出、消費者のニーズの多様化、高齢化により市街地の衰退が著しい中、周南市では、旧徳山市が平成11年11月徳山市中心市街地活性化基本計画を策定後10年以上が経過した平成25年2月18日に、新たに基本計画を見直し、認定申請し、平成25年3月29日に認定されたが、その後どのような形で推移しているか。

### 2 徳山停車場線の道路新設について

- (1) この道路新設については平成20年12月議会で質問をした。その後、地元の方々と水面下でさまざまな討議がなされたと聞いているが、進捗状況を問う。

---

## 9 土屋晴巳（新誠会）

### 1 幼稚園、小中学校の樹木等の管理について

- (1) 桜の木の消毒について問う。  
ア 実施頻度と予算は。
- (2) 樹木の剪定状況について問う。  
ア 実施者は。  
イ 実施頻度とスケジュールそして予算は。
- (3) 草刈りの状況について問う。  
ア 実施者と実施頻度は。
- (4) 自然災害の影響等により緊急対策が必要な場合の対応について問う。  
ア 対応マニュアルはあるのか。また予算措置はどのようなのか。
- (5) コミュニティ・スクールの一環として、草刈りや樹木の剪定等環境整備に地域の力を借りるシステムの構築・導入を提案するが、教育委員会の考えを問う。

### 2 発達障害児の育成支援体制について

- (1) 早期発見・早期支援の本市の取り組みについて問う。  
ア 早期発見のための具体的対策は。  
イ 早期発見・早期支援のための庁内関係部署（保育園・幼稚園・健康増進課等）との連携は。  
ウ 専門職（臨床心理士・言語聴覚士等）はどのようにかかわっているのか。  
エ 保護者への研修、相談体制は。  
オ 発達障害児の支援・応援のためのガイドラインはあるのか。
- (2) 就学前から就学後まで一貫した計画支援体制が必要である。そのためには庁内組織の一部再編も必要と考えるが、市の考えを問う。

---

## 10 青木義雄（参輝会）

### 1 文化について

- (1) 文化について、どのような認識をしているか。これまで文化行政に、どのように取り組んできたのか。基本的な考え方はあるのか。
- (2) 「無駄こそ文化」という名言もある。効率性や生産性からは対極にある側面を持つ文化を、どのようにこれからのまちづくりに生かしていくのか。
- (3) 21世紀を生きるのに文化は不可欠であり、さらなる高まりが求められるが、行政の役割を、どのように考えているのか。
- (4) 都心軸の文化について以下を問う。  
ア 先人の英断により「文化不毛の地」から「緑と文化のプロムナード」へ進化した。都心軸の文化をどうしていくのか。その基本的な考え方はあるのか。  
イ 文化を後退させてはならない。都心軸の文化のビジョンを示すべきではないか。

ウ 将来に向けて都心軸の文化の構築が求められるが、どうか。

## 2 平和発信について

- (1) 人間魚雷回天の出撃から70年が経過した。なぜ、このような暴挙を戦術としたのか。未曾有な戦術は、日本人とは何か、という本質的な問いかけにもなると感じる。この危うさ、もろさを戒めとして平和発信していかなくてはならないし、それができるのは周南市だけである。使命感を持って平和発信に取り組んでいくべきだが、どうか。

## 3 道の駅ソレーネ周南について

- (1) 6月定例会で一般質問したが、その後の売り上げや来客数などの推移はどうか。また、それを受けて今後どのように取り組んでいくか。

# 1 1 相本政利（公明党）

## 1 低炭素社会実現の取り組みについて

- (1) 本市における二酸化炭素排出量削減の取り組みについて問う。
  - ア 主な施策内容及びこれまでの成果と今後の展開は。
  - イ 低炭素社会実現の取り組みは形骸化していないか。また、本年度策定予定の第2次環境基本計画の策定の進捗状況は。
- (2) 再生可能エネルギー導入の取り組みについて問う。
  - ア 昨年度、売電開始した市有地太陽光発電事業の現状並びに今後の展開は。
  - イ ため池太陽光発電導入の検討は。
  - ウ 県支援事業の小水力発電導入の検討は。
  - エ 生ごみバイオマス発電導入の検討は。

## 2 インフラ整備の取り組みについて

- (1) 周南市橋梁長寿命化修繕計画策定後の取り組みについて問う。
  - ア 調査の方法や現状の状態及び今後の修繕計画は。
  - イ 事後保全型から予防保全型への移行の効果は。
  - ウ 市としての取り組みを情報公開すべきではないか。
- (2) 市道のトンネルの保全管理方法について問う。
  - ア 市道のトンネルの保有数及び保全管理の方法は。
  - イ 長寿命化計画を策定し予防保全型への移行を検討すべきではないか。
- (3) 治水対策（河川のしゅんせつ）について問う。
  - ア 本市における河川のしゅんせつの状況は。
  - イ 県と連携して治水対策を積極的に行うべきではないか。

# 1 2 金子優子（公明党）

## 1 新駅ビル図書館について

- (1) 既存の図書館との差別化が必要だが、民間活力導入図書館の特色は。
- (2) 市内既存の5つの図書館との連携は。
- (3) 電子書籍の導入は。

## 2 子育て支援について

- (1) 子ども・子育て支援新制度について以下を問う。
    - ア 子ども・子育て支援事業計画策定へ向けての進捗状況は。
    - イ 平成27年度施行の新制度と現行制度で大きく変わる点はあるのか。また、移行への準備はできているのか。
    - ウ 今後の幼保一体化への方向性は。
  - (2) 移動式赤ちゃんの駅の購入・貸し出しはできないか。
- ### 3 認知症支援について
- (1) 認知症サポーター養成講座の開催回数と受講者数は。
  - (2) 徘徊・見守りSOSネットワークの取り組みはできないか。
- 

## 1 3 吉平龍司（公明党）

### 1 災害時応援協定について

- (1) 本市の災害時における応援協定は十分なものか。
- (2) 災害発生時の被災者の救助や障害物の除去等も含む応急対策業務の協定への取り組み状況は。
- (3) 大規模な震災に備えた支援物資供給体制の円滑化に向けた検討は。

### 2 空き家対策と対応について

- (1) 空き家バンクの設置後の問い合わせ内容はどんなものがあるのか。
  - (2) 空き家等の適正管理に関する条例制定後の実態はどうか。
  - (3) 安全・安心への具体策として危険建物除去工事に対する一部助成制度は考えられないか。
- 

## 1 4 長嶺敏昭（参輝会）

### 1 コンベンションシティとおもてなしの姿勢について

- (1) 「名水サミット in 周南」開催の総括を問う。
  - ア コンベンションシティ推進の一環としての誘致であろうが、周南市のおもてなしの姿勢は十分であったか。
  - イ シンポジウムの構成、参加者満足度、達成感など自己評価はどうか。
  - ウ 懇親会、オプションツアーの評価は。
  - エ 他地域からの参加者が少数だった点など反省点はないか。
  - オ 費用対効果の検証はどうか。
- (2) 今後のコンベンション誘致計画の見通しと「おもてなしマインド」の醸成はどうか。

### 2 駅南、親水公園、大津島などの活性化のためのアートの活用について

- (1) アートには地方都市を再生あるいは新しく創造できる力があると信じるが、瀬戸内国際芸術祭などを参考に、アートプログラムの展開を企画してはどうか。
- (2) 若いアーティスト、クリエイターを支援することで、そのネットワークにより全国へ情報発信ができ、著名なアーティストの参画にも広がる可能性が期待できると思うがどうか。
- (3) 港湾整備の一環として、県への重点要望にアートを組み込むよう提案してはどうか。

### 3 橋梁長寿命化修繕計画における今後の改修計画について

- (1) 橋梁の調査は済ませているが、老朽化している橋梁の改修年次計画はあるのか。

- (2) 改修の優先順位のつけ方に基準はあるのか。
- (3) 住民は明確なかけかえ時期がわかると我慢強く待ってくれる。改修計画の有無などの説明を十分することが行政の務めだと思うがどうか。

---

## 1 5 中村富美子

### 1 (仮称) 新徳山駅ビル基本設計案について

- (1) 駐車場について問う。
  - ア 新駅ビルの西側に立体駐車場を整備し100台程度を確保するというが十分か。
  - イ 利用形態は。
- (2) インフォメーションスペースについて問う。
  - ア 2階東側にインフォメーションスペースがあるが、業務内容と人員配置は。
  - イ コンベンションシティーを標榜する周南市としては、新幹線からおりてきた人に利用してもらうには場所的に問題があるのではないか。
- (3) にぎわいについて問う。
  - ア 商店街と連携を図り、町なかの回遊性を高める施設にするとしている。駐車場とも関係すると思うが、駅ビルに集った人たちは商店街に流れていくと思うか。
  - イ 商店街と連携を図るというが、具体的にどういうものか。
  - ウ 利用見込み者数の1日800人は変わらないのか。
- (4) 民間活力導入図書館について問う。
  - ア 約4,000平米のうち約3,000平米を民間活力導入図書館が占めている。2階、3階部分は図書館としているが、開架、閉架書庫の蔵書数と学習室の面積は。
  - イ 展示スペースはあるのか。
  - ウ 2階、3階の図書館部分は何人役で業務を行うのか。指定管理は再考できないか。

### 2 教育委員会のこれからと活性化について

- (1) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正が行われ、教育委員会改革が行われた。このことについて以下を問う。
  - ア 教育委員会は新教育長への指揮監督権がなくなるがどう考えるか。
  - イ 大綱の策定が義務づけられているが、国の教育振興基本計画を参酌して定めることとしている。国からの干渉について教育委員会はどうか中立性を保つのか。
  - ウ 市長と教育委員会が協議する総合教育会議を新設することになるが、市長の教育内容への介入が懸念されるがどうか。
- (2) 教育委員会の活性化について問う。
  - ア 教育委員会には保護者、子供、教職員、住民の不満や要求をつかむという基本的な取り組みが求められると思うが、どうか。
    - (f) 教育委員会の会議で学校や教育委員会に寄せられた意見等を紹介しているか。
    - (g) 公聴会等の意見交換を行ったことはあるか。
    - (h) アンケート等の実施状況はどうか。
  - イ 教育委員会の形骸化が指摘されることがあるが、周南市はどうか。

ウ 教育委員会は、教育にかかわる保護者・子供・教職員・住民の要求を教育行政に反映させていく教育委員会であるべきと思うが、活性化できているか。そうでなければ対策を講じる必要があるのではないか。

---

## 1 6 島津幸男（周南会）

### 1 防災対策について

- (1) 広島土砂災害の発生に対し、本市の防災対策について問う。
  - ア 防災対策の現状は。
  - イ ハザードマップ（防災マップ）の配布状況と取り扱い方法は。
  - ウ 防災教育の必要性は。
  - エ 人材育成と予算措置は。

### 2 人口減少対策について

- (1) 周南市の現状と対策は。
- (2) 基本的な考えを問う。
- (3) 雇用創出の具体策は。
- (4) 「人づくり」に向けて教育制度の見直しは。

---

## 1 7 金井光男（公明党）

### 1 地域包括ケアシステムの構築について

- (1) 構築の前提となる取り組みについて以下を問う。
  - ア 第5期介護保険事業計画の中での地域包括ケアシステム基盤の進捗と総括は。
  - イ 地域のニーズ調査・課題把握はできているか。
- (2) 地域包括支援センター（愛称いきいきさぼーと）は質・量ともに強化の必要性があるのではないか。
- (3) 地域資源との連携強化について以下を問う。
  - ア 現在、全国一律の「予防給付」で行っている「訪問介護・通所介護」が、市町村に「新しい総合事業」として平成29年までに移行するが、本市の移行時期は。
  - イ 今ある地域資源を活用した予防のための「生活支援サービス」提供体制の整備・連携が必要ではないか（社協、老人会、自治会、NPO等や民間協力事業者等のネットワーク化）。
  - ウ 高齢者の社会参加促進のために「介護支援ボランティアポイント制度」の導入は有効と考えるがどうか。
- (4) 介護・医療・予防の連携強化について以下を問う。
  - ア 医療と介護の連携機能の高度化を図っていくためには、それぞれの役割について相互理解が第一歩と思うが、その実現のための市の役割をどう認識しているか。
  - イ 在宅医療連携拠点の整備が必要と思うがどうか。
  - ウ 生体情報モニタリングシステムを活用したICT遠隔医療システムは在宅医療ニーズに対応できる有効なツールと認識するがどうか。

### 2 自治体版スマートフォンアプリについて

- (1) 「ごみ分別につかえるアプリ」が好評である。さらに地域情報、観光、防災、健康・福祉等、地域の活性化や安全安心に資するものなどを開発し、便利な情報を住民だけでなく観光で来る人などに提供できないか。

### 3 3D-CAD利用について

- (1) 3D-CAD（3次元コンピュータ利用設計システム）によるまちづくりや防災データ等の利活用については、調査研究の価値があると思うがどうか。

---

## 18 田村勇一（新誠会）

### 1 新たな広域連携について

- (1) 総合計画の大きな施策について以下を問う。
- ア 自治体も将来の人口動態を見据えて議論が必要ではないか。
  - イ まちづくり総合計画などに将来人口の変動を織り込み、目標値に反映させる動きを活発にすべきではないか。
  - ウ 少子化対策や人口定住促進事業などに積極的に取り組むべきではないか。
- (2) 公共施設再配置計画の考え方について以下を問う。
- ア これまでの市町村が単独であらゆる公共施設等を備えるという施策から脱却し、市町村間における新たな広域連携を推進することで、市町村が基礎自治体としての役割を持続可能な形で果たしていけるようにすることが必要ではないか。
  - イ 来るべき人口減少社会を見据え、行政サービスの維持・向上に向け、それぞれ単独で取り組むのではなく、近隣市町村や県との連携を進めることにより、効率的な行政運営を目指す必要があるのではないか。

### 2 小中学校の不登校について

- (1) 本市の実態について以下を問う。
- ア 小中学校別の現状は。
  - イ 原因究明と対策は。
  - ウ 学力低下とスマートフォンとの影響は考えられないか。
  - エ 今後の課題は。

---

## 19 井本義朗（アクティブ）

### 1 オープンデータの活用について

- (1) 近年、全国の先進自治体では行政の持つ膨大なデータを二次的利用が可能な形で公開し、新たな価値の創造につなげるオープンデータの研究が進められ、既に幾つもの活用事例がある。これについて以下に問う。
- ア オープンデータについて市の認識は。
  - イ これから調査・研究を行い、本市でも活用を進めてみてはどうか。

### 2 公衆無線LANについて

- (1) 公衆無線LANの整備が公共施設に予定されているが、整備方針などについて以下に問う。

- ア 現在、公衆無線LANが整備されている、また整備を予定している公共施設はどこか。
- イ 設置者は。
- ウ セキュリティー対策は。
- エ 既存の公共施設も含めて、どこの施設に設置するのがいいかを総合的に検討する必要があるのではないか。

### 3 防災行政について

- (1) この夏、広島市北部で発生した土砂災害では甚大な被害が出ているが、これを教訓として本市の土砂災害への対応について以下に問う。
  - ア 本市の土砂災害警戒区域また特別警戒区域の指定の現状はどうか。
  - イ 土砂災害危険箇所と認識している中で、警戒区域、特別警戒区域に指定されていない箇所はあるか。

### 4 災害支援について

- (1) 被災地に対して本市の支援対応は。

## 20 伴 凱友（周南会）

### 1 市庁舎建てかえについて

- (1) 12年前、周南合併の協議では「複数の地域核を持つ多極ネットワーク型都市の形成」で合意しているが、今回の「機能を統一した本庁舎の建設」はどのように整合性をとるのか。
- (2) 各地の市庁舎建設事業の視察を何度も重ねてきたが、ほとんどの自治体が合意に時間をとっている。本市の建設は急ぎ過ぎではないか。
- (3) 住民の要求は近くの支所で用務が処理できることである。建てかえによる機能集中以外の方法もあるのではないか。

### 2 道の駅ソレーネ周南について

- (1) 道の駅ソレーネ周南の一番の目的は地域振興と理解しているが、周南市外からの製造品が多過ぎる。6次産業の振興に向けたより大きな努力が必要で、地元での1次、2次産業を育成する必要があるのではないか。
- (2) 建物に設計上の問題はないか。あるとすれば、その原因と対処を問う。
- (3) 道の駅は周南市の東西2カ所に建設を目指したものであり、前回の答弁では、熊毛地区への建設は様子見ということであったが、現時点での判断は。

## 21 古谷幸男（参輝会）

### 1 徳山駅周辺整備事業について

- (1) 新徳山駅ビルの基本設計が進み模型が発表された。南北広場の事業展開は、どうなっていくのかCCCの考え方を含めて以下に問う。
  - ア 北口駅前広場は新徳山駅ビル整備後、平成30年から工事を進める予定となっているが、その駅ビルの景観や形状にあわせCCCの企画に沿った実施設計となるのか。
  - イ 工事着工や完成の時期は。
- (2) 南口駅前広場の用地取得の状況と事業の完成予定など計画について問う。

- (3) 総事業費は約120億円になると聞いているが、現時点で想定される金額は幾らになるのか。
- (4) 新徳山駅ビルは、にぎわい・活性化の核になると思う。その状況を問う。
- ア 新徳山駅ビルの完成後、また南北駅前広場の完成後は、どのような人の流れを想定しているのか。また、にぎわいの創出は可能か。
- イ 一方通行などの実証実験も企画しているが、CCCの企画を含めて商店街と全体的に協議連携は行われているのか。
- (5) 南北自由通路を将来的に生かしていくため駅南側の事業展開は、どのように考え計画を進めていくのか。
- (6) 新徳山駅ビルの図書館は、CCCが企画立案し運営も展開すると思うが、その理解でよいか。

## 2 子育て支援について

- (1) 全国的に少子化問題は大きな課題である。県においても新たな取り組みを始めた。周南市の現状と今後の取り組みを問う。
- ア 保育所、幼稚園と在宅で過ごしている未就学児について、比率と人数はどのような状況か。
- イ 在宅で子育てをされている家庭にどのような支援をしているか。
- ウ 中学校終了まで医療費の無料化はできないか。
- エ 子供一人一人は公平・平等に対応されるべきと考える。周南市として今後どのように考えていくのか。また、周南市として特徴的なものがあるのか。
-